

先週の回答



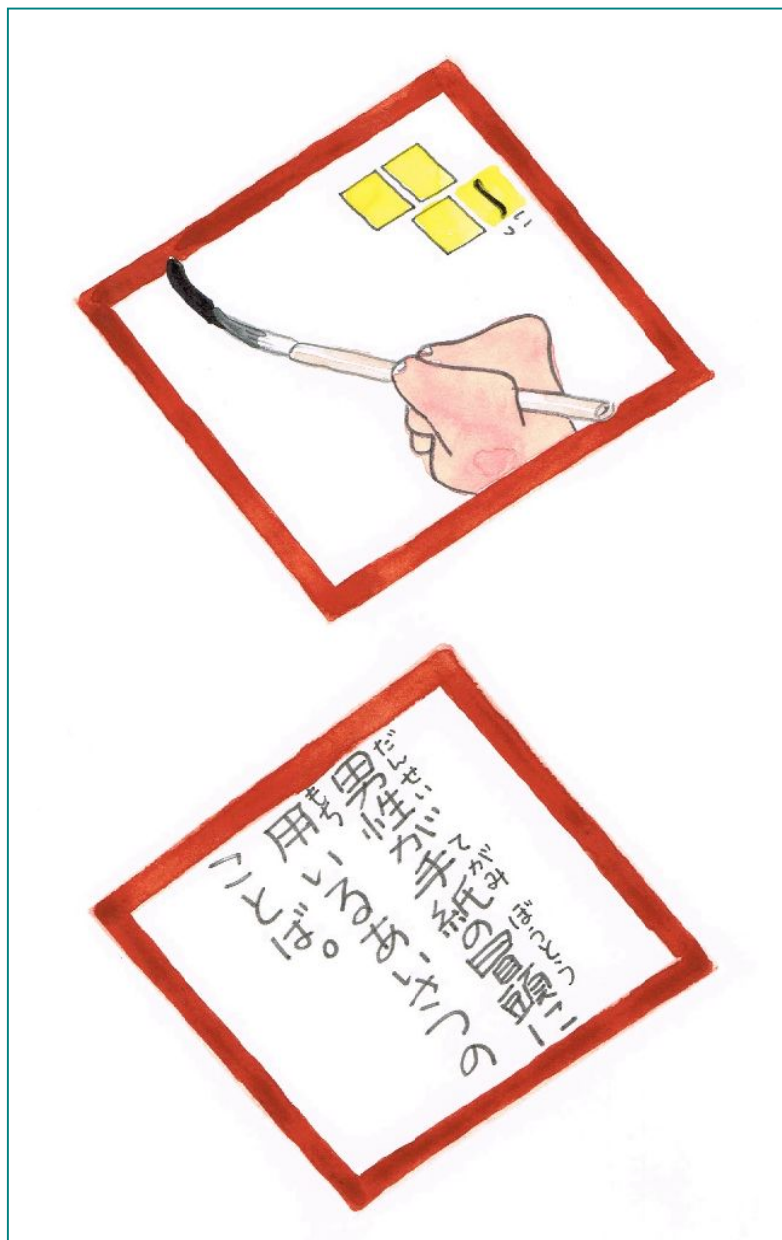
「小学校のクラス会、どうだったの？あなた」
 「卒業して十年以上だからな、集まったのは二十人ちよっとだったよ」
 「ずいぶん来たじゃないの。笹口園子先輩も来てた？」
 「ああ」
 「あの先輩に憧れてたのよ、あたし。美人で長い黒髪してて、スタイルがよくって、勉強も優等生で」
 「何で知ってたんだよ」
 「だって、部活で一緒だったから。あたし大きくなったら、笹口先輩みたいなステキな女のコになるんだって、神さまにお願いしてたのよ。あなたも好きだったんでしょ？小学校のときは」
 「クラスのマドンナだったからな」

「やっぱり今でも、美人で知性的だった？」
 「ボロボロだったよ」
 「って？」
 「むかしの面影さらになし」
 「って？」
 「ピチピチしてた肌がたるんでだなあ」
 「まさか」
 「つぶらな瞳の下には隈。寝（やつ）れきってたよ。つややかな黒髪だったのが白髪ばらばらの薄毛。あーゆーのを言うんだな甘井先嶋（かんせいせんけん）って」
 「何それ？」
 「若いうちに恵まれすぎると、衰えるのが早いってことだよ。やせ馬の先走りともいう」

「そーいえば、あたしもこの前のクラス会で会った、勉強ができてスポーツ万能で東大に現役で入った、憧れの王子さまだった福山マサルくん。今、刑務所に入ってるんだって」
 「何で？」
 「通勤電車で痴漢行為の現行犯で」
 「『それも甘井先（ま）ず嶋（つ）く』だな」
 「何それ？」
 「だから、甘井は、よい飲み水の出る井戸のことで、才能のある人のたとえ。才能のある人は早々と才能を切らしてしまいがちだってことだよ。オレたちみたいに徐々に成長していくのがいいんだよ」
 「あんた成長してないじゃん」
 「ほっといてくれ」



今週の問題



□の中に漢字を埋めて
四字熟語を完成させてください。